Hitachi Koki

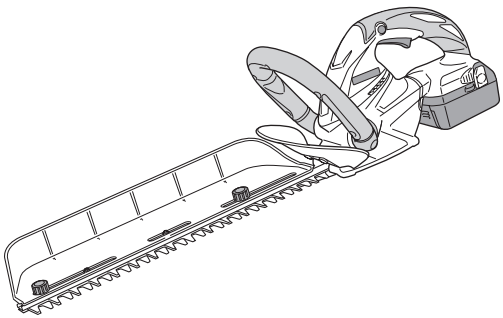
形　名

FCH 18DSL

取扱説明書 保証書付

日立 コードレス 植木バリカン

このたびは日立コードレス植木バリカンを
お買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



用　途

- 生垣などの仕上げ刈込み
- 庭木の整枝、せん定

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意 …1
本製品の使用上のご注意 ……5
リチウムイオン電池の使用上のご注意 ……6
各部のなまえ ……8

使い方

充電する ……9
基本機能について ……11
　スイッチについて
　ブレードケースについて
　チップレシーバについて
　ブレードの交換
生垣や庭木を刈込む ……15

その他

点検とお手入れ ……17
故障かな…というときは ……19
仕様 ……21
アフターサービスについて ……22
保証書 ……裏表紙

HITACHI

⚠警告、⚠注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 ：**製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。
  異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 温度が 0 ℃未満、または温度が 40 ℃を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡（ｼｮｰﾄ）させないでください。

- 釘袋などに入れると、短絡（ｼｮｰﾄ）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

⚠警告

④ 感電に注意してください。

- ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
  感電の恐れがあります。

⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
  暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
  爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

⑥ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
  切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⑦ 加工するものをしっかりと固定してください。

- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
  手で保持するより安全で、両手で工具本体を使用できます。
  固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。

⑧ 次の場合は、工具本体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。
  工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑨ 不意な始動は避けてください。

- スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑩ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
  事故やけがの原因になります。

⑪ 蓄電池を火中に投入しないでください。

- 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠注意

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、工具本体や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。

③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
- 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

④ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、工具本体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。

⑤ 作業に合った工具本体を使用してください。
- 小形の工具本体やアタッチメントは、大形の工具本体で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⑥ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

⑧ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。

⑨ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠ 注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器のコードは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口に修理を依頼してください。
  感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 充電器に延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。

- サービスマン以外の人は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- 工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス植木バリカンとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

① 作業する箇所に、電線などがない事を作業前に確認してください。
- 電線などがあるとブレードが触れ、感電や漏電の恐れがあり、事故の原因になります。

② 使用中は、本体を両手で確実に保持してください。
- 両手で確実に保持していないと、けがの原因になります。

③ 使用中は、ブレードに手など身体を近づけないでください。
- ブレードに触れ、けがの原因になります。

④ ブレードや付属品が確実に取付いていることを確認してください。
- 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

⑤ 使用前にブレードにひび割れ、歪み、異常磨耗など傷がないことを確かめてください。
- これらの傷を発見した場合には絶対に使用しないでください。刃物が破損し、けがの恐れがあります。

⑥ 針金や鉄板などを切らないでください。
- 硬いものを切ると故障、けがの原因になります。

⑦ 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、点検・修理をお買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口に依頼してください。
- そのまま使用していると、けがの原因になります。

⑧ 誤って落としたり、ぶつけたときは、ブレードや本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⑨ ブレードは分解しないでください。
- けがの原因になります。

⑩ 本製品は機能上、稼働時に振動が発生します。このため、長時間の連続使用は身体的に負担をかけることがありますので、無理な姿勢は避け、定期的に休息をとるようにしてください。また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じた場合は、直ちに作業を中断し休憩してください。
- 力仕事に不慣れな、例えばご高齢の方は、特に身体的負担にご注意ください。

⑪ 芝を刈込まないでください。
- 破損の原因になります。

⚠注意

① ブレードの取扱いには、手袋・布などで手を保護し、十分注意してください。
- けがの原因になります。

② 切断中ブレードを無理に押しつけたりすると、ブレードが破損することがありますので注意してください。

③ 作業直後のブレードは高温になっているので、触れないでください。
- やけどの原因になります。

④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
- 本体などを落としたとき、事故の原因になります。

⑤ 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。
- けがの原因になります。

⑥ 殺虫剤などの薬品が本体に付いたままにしないでください。
- 破損や亀裂が生じる恐れがあります。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記 ①、②、③ の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

① 電池残量が少なくなると（電池電圧 12 Vまで低下）モーターが停止します。
このときは速やかに充電してください。

② 本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。

③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。
さらに次項に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。

- 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
- 作業中に工具本体にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
- 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
- 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。

② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。

③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。

④ (+)(ー)を逆にして使用しないでください。

⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。

⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。

⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。

⑨ 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。

⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。

⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取り出して使用しないでください。

⚠注意

① 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

- 放置すると液により目に障害を与える原因になります。

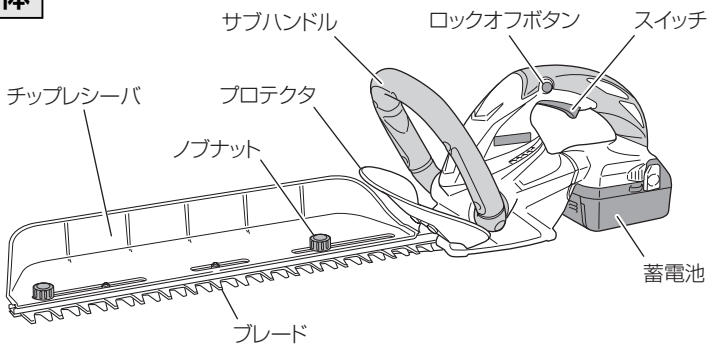
② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

- 皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

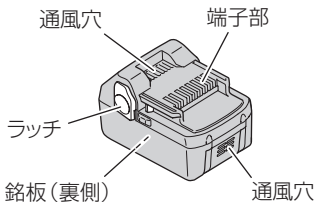
③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

各部のなまえ

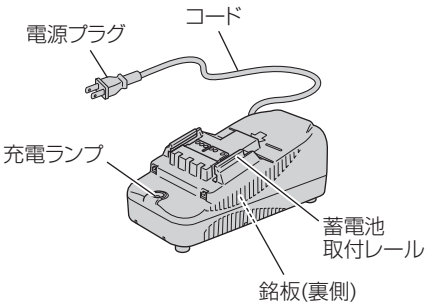
工具本体



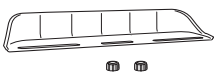
蓄電池



充電器



標 準 付 属 品

品名・形名 ＼ 製品形名（仕様）		FCH 18DSL（35）	FCH 18DSL（40）
蓄電池	BSL 1830	1個	1個
充電器	UC 18YGSL	1台	1台
ブレード		1組【350mm】	1組【400mm】
チップレシーバ ノブナット（2個）		1式（本体装着）	1式（本体装着）
ブレードケース		1個（本体装着）	1個（本体装着）

充電する

ご使用の前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残り少なくなったときは、次のように充電してください。

⚠警告

手順 ❶ 、❷ については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

1 電源を確認する

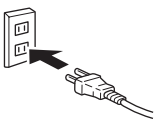
この充電器は交流 100 V用です。
200 V電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。
また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。

2 コンセントを確認する

コンセントががたついていたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。
そのまま使用すると危険です。

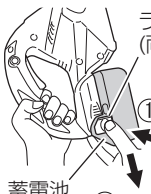
3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電ランプが点滅を繰り返します。
（「充電ランプの表示について」参照）



4 蓄電池を充電器にさし込む

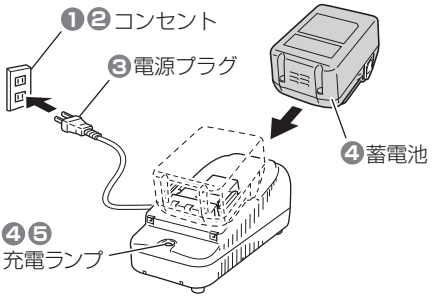
取りはずすとき



- 下図のように蓄電池を充電器の底に当たるまでしっかりとさし込んでください。
- 充電ランプが点滅から連続点灯になり、充電が始まります。

5 充電の完了

- 充電ランプが点滅して充電完了をお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

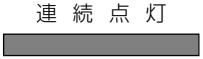
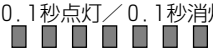


充電時間：約90分

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」がついてます。ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプの表示		表示内容
点　滅	0.5秒点灯／0.5秒消灯	電源にさし込んだ状態 （蓄電池がさし込まれていない）
点　灯	連 続 点 灯 	充電中
点　滅	0.5秒点灯／0.5秒消灯	充電完了
遅い点滅	1秒点灯／0.5秒消灯	蓄電池の温度が高くて充電できない。 （温度が下がると自動的に充電を開始します。）
速い点滅	0.1秒点灯／0.1秒消灯 	充電器または蓄電池に異常あり。

注

- **充電ランプが速い点滅（0.1秒点灯／0.1秒消灯）を繰り返すときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取除いてください。**
  異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。
- **電源プラグをコンセントにさし込んでも充電ランプが点滅しない場合、充電器の保護回路が動作している可能性があります。**
  電源から取りはずして約30秒後、再度電源につないでください。
  それでも充電ランプが点滅しない場合、お買い求めの販売店にご持参ください。
- **一度充電が完了した後、次の充電まで15分程度休ませてください。**
  同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
- **炎天下に放置された蓄電池や使用直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が冷めてから充電してください。**
  すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。
- **工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめて充電してください。**
  無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。
- **正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がつきたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。**
  寿命のつきた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

○新しい蓄電池は、当社純正品をご使用ください
当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

基本機能について

ご使用前に、本製品の基本機能をお読みください。

●スイッチについて

⚠ 警告

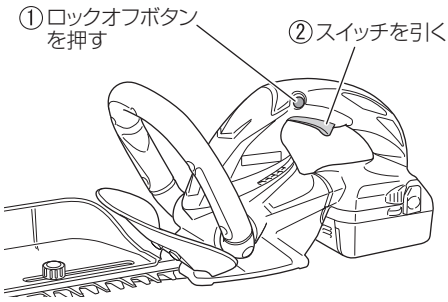
ロックオフボタンを押し込んだ状態で固定しないでください。
誤ってスイッチを引いたとき、不意に動き出しけがの原因になります。

本機はロックオフボタンを押してスイッチを引かないとスイッチが入らないようになっています。

ロックオフボタンは左右どちらからでも押すことができます。

ロックオフボタンは、スイッチを引くことで固定され、スイッチを引いたままであれば、ロックオフボタンをはなしても動きつづけます。

スイッチをはなすと自動的に戻り、スイッチが不用意に入らなくなります。



●ブレードケースについて

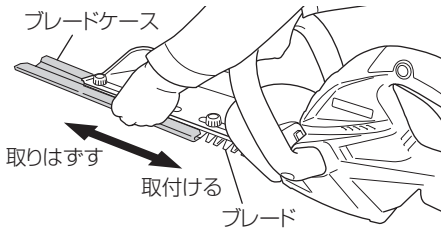
⚠ 警告

ブレードケースの取付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

⚠ 注意

ブレードケースの取付け・取りはずしの際は、ブレードに手や、体が触れないように、ゆっくりとした動作で行ってください。
けがの原因になります。

植木バリカンブレードを本体に取付け・取りはずしするときや、本機をご使用にならないときは、けが防止のため必ずブレードケースをブレードに取付けてください。



●チップレシーバについて

⚠警告

チップレシーバの取付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

⚠注意

チップレシーバの取付け、取りはずしの際は、必ずブレードにブレードケースを付け、手や顔などが直接ブレードに触れないようにしてください。
けがの原因になります。

チップレシーバを取付けて作業をすることにより、刈取った枝葉をすくい受け、作業後の清掃が楽になります。

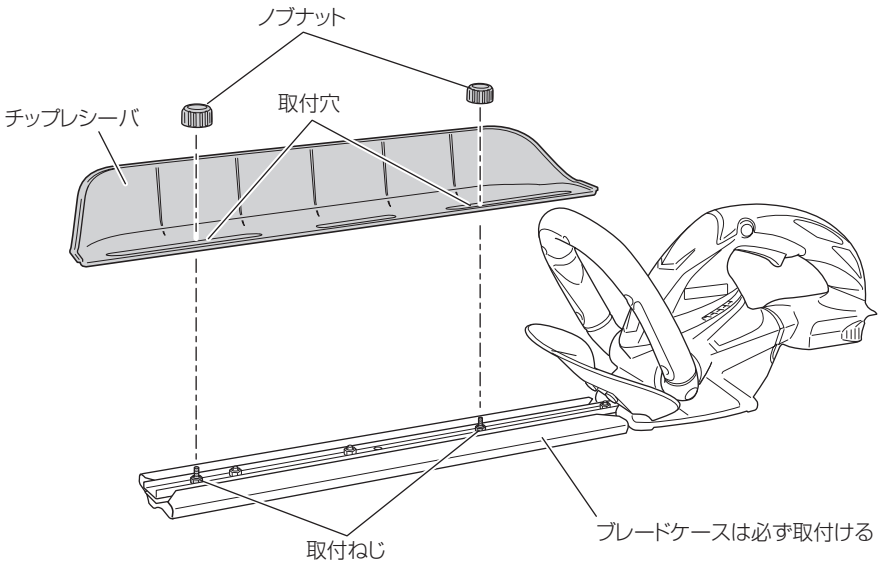
取付け

- チップレシーバはブレードの左右どちら側にも取付けることができます。
- 取付けは、ブレードの取付ねじ 2 本にチップレシーバ取付穴を合わせて置き、ノブナットで締付けて固定します。

※ 2 本の取付ねじは、他のねじより長くなっています。

取りはずし

- チップレシーバは、ノブナット (2 個) をゆるめて取りはずします。
- チップレシーバを取りはずして作業するときは、ノブナットをなくさないように取付ねじにノブナットを締付けておくことをおすすめします。



●ブレードの交換

⚠警告

万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

⚠注意

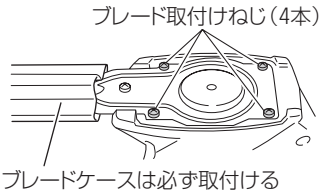
ブレードの交換の際には、必ず手袋およびブレードケースを付け、手や顔に刃物が触れないようにしてください。

ブレードは消耗品です。切れ味が落ちたときは、新しいブレードに交換されることをおすすめします。

注 **ブレードは、本機専用ブレード（標準刃 350 ㎜／ 400 ㎜）を使用してください。**
他のブレードは使用しないでください。

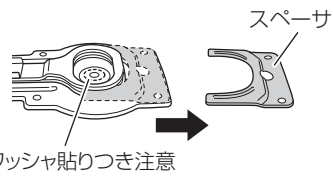
❶ 古いブレードを取りはずす

① 本体を裏返して 4 本のねじをプラスドライバーでゆるめ、ブレード（ブレードケース付）を取りはずします。



注 **ブレードを取りはずした際、裏側にワッシャが貼りついていることがあります。なくさないように注意してください。**

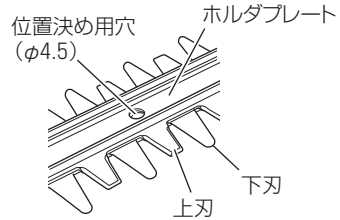
② 古いブレードからスペーサを取りはずします。ハウジング内に入った刈りくずやごみを取除きます。



注 **ブレードの交換の際、ギヤやカム部などについているグリースをふき取らないでください。**
グリースは運転を円滑にするためのものです。

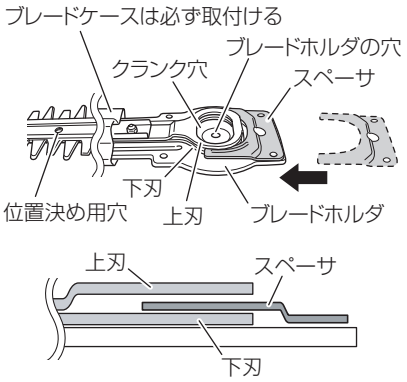
❷ 新しいブレードの取付け準備をする

① ブレードの中央に位置決め用の穴（φ4.5）があります。
上刃、下刃等のすべての部品の穴が一致するように調整します。



② 位置決めが完了しましたら、ブレードケースを新しいブレードに付け替えてください。

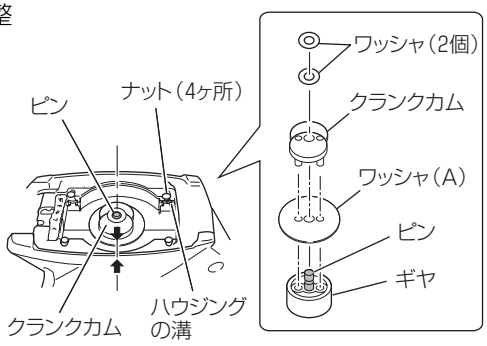
③ ❶ではずしたスペーサを図のように上刃と下刃の間に挿入します。



3 クランクカムを手で回して図の位置にする

① クランクカムの円板部が図のように、機体に対して真横に来るように調整します。

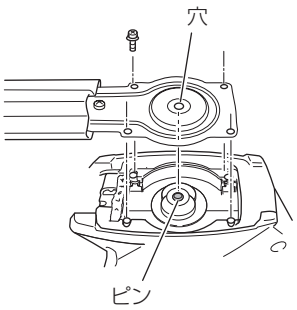
② ナット（4 ヶ所）がはずれかかっているときは、ハウジングの溝に押し込んでください。



4 新しいブレードを取付ける

① 裏返した新しいブレードホルダの中心穴とクランクカムの中心部の丸い凸部を合わせて取付けます。

② スペーサをはさみこんだ状態でブレードホルダを 4 本のねじで締付けます。



注 **ブレード取付け後、必ず動作確認をしてください。ブレードが正常に動かない場合は、ブレードとクランクのかみ合わせが良くありません。もう一度最初からやりなおしてください。**

生垣や庭木を刈込む

⚠警告

- **使用する前にかならず周囲に人がいないことを確認してください。**
  事故の恐れがあります。
- **使用中は、ブレードに手など身体を近づけないでください。**
  ブレードに触れけがの原因になります。
- **使用中は保護メガネをかけてください。**
  木の枝や木くずが飛び散ると、けがの原因になります。
- **針金や鉄板などを切らないでください。**
  硬いものを切ると、故障・けがの原因になります。

⚠注意

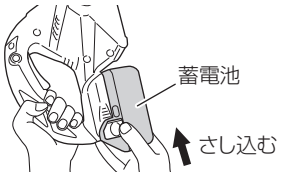
- **太い枝（直径 15 ㎜以上）は、あらかじめ余裕のある長さまでせん定バサミで切っておいてください。**
  能力以上の負荷を加えると、故障の原因になります。
- **太い枝などをかみ込んだ場合は、直ちにスイッチを切ってください。**
  モーターをロックさせたままにすると故障の原因になります。
- **高い庭木には、しっかりしたはしごや脚立を用意してください。**
- **芝生や雑草の刈込みをしないでください。**
  故障やけがの原因になります。

1 作業前に庭木のまわりを整頓し、足場を良くする

2 ブレードケースを取りはずす

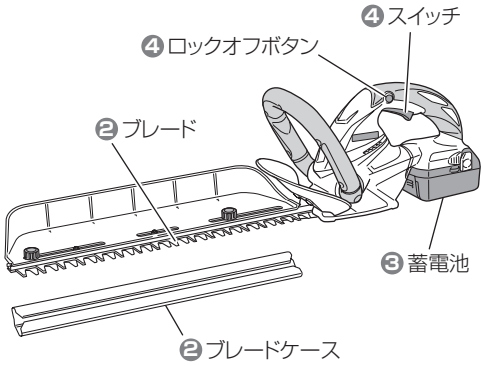
ブレードに触れないようにゆっくりと引き抜きます。
（P 11「ブレードケースについて」参照）

3 蓄電池を工具本体にさし込む



4 スイッチを入れ、刈込む

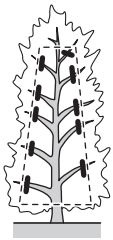
ロックオフボタンを押しながら、スイッチを引きます。
（P11「スイッチについて」参照）



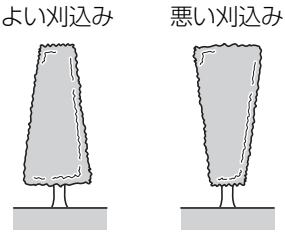
注 • **使用前と作業中の１時間に１回程度は、ブレードに注油（ミシン油、機械油など）をしてください。**
注油は適量とし、余分な油はふき取ってください。
• **作業途中（休憩時など）に、工具本体を直射日光の当たる場所、高温になる場所に放置しないでください。**
モーターの冷却が十分に行われず、故障の原因になります。
• **モーターがロックしたり、回転が落ちるような使い方をしないでください。**
故障の原因になります。負荷をかけ過ぎないように使用してください。

●上手な庭木の刈り方

• 直径 15 ㎜以上の枝は、あらかじめ樹姿の 10 cmくらい内側をせん定バサミで刈込んでおきます。



• 密生した枝葉については、下から上に向かって刈込み、お好みの形状に仕上げます。



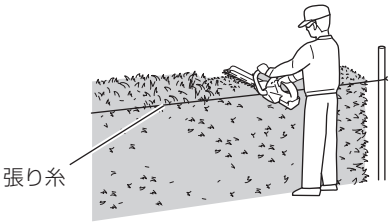
上の方は思い切って刈込む

• 玉ものは、上の方を強く刈り、下の方は弱く刈ります。

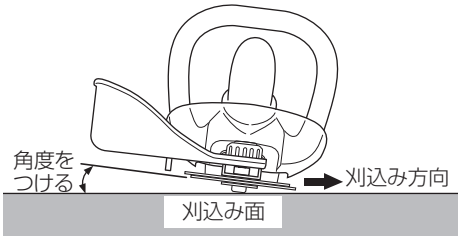
徒長枝を刈込む

●上手な生垣の刈り方

① 張り糸をつけて、これを目安にして刈込むと、角部（コバ）を鋭角に仕上げやすくなります。



刈込みを行う場合、刈込み方向（ブレードの進行方向）に対して刃先を少し下げてください。枝の導入が良く、きれいに刈込めます。



② 次に、生垣の上面を右から左（または左から右）へ移動しながら刈込みます。

③ 側面は、下から上に向かって移動しますと、刈込みやすく、きれいに仕上がります。

点検とお手入れ

⚠ 警告

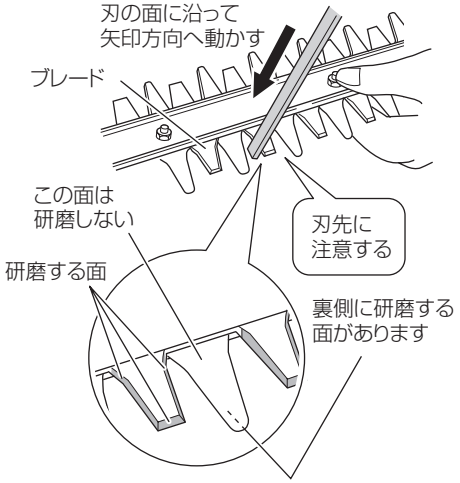
- **点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
- **ブレードは分解しないでください。**
  けがの原因になります。
- **ブレードの取扱いには、手袋、布などで手を保護し十分注意してください。**
  けがの原因になります。

●ブレードの研ぎ出し

鉄ヤスリを矢印の方向へ動かして粗とぎして、油トイシで仕上げます。

① 中目または細目の鉄ヤスリを使います。
② 油トイシは機械油（自転車油など）を塗って研ぎ出します。
③ ブレードの刃の裏側に出た返りをトイシで軽く取除きます。

注 **ブレードは水洗いしないでください。**
さびや故障の原因になります。



ブレードの研ぎ出し時期

刈込む草木の種類や使い方、使用期間などで異なりますが、目安として年に一回はブレードを研ぎ、いつでも切れるようにしてお使いください。

●ブレードへの注油

刈込みの際、刃先についた樹液などにより、負荷が増し、電池の消耗が早くなり使用時間が短くなることがありますので、機械油（または自転車油など）を注油し、布でふき取ってください。

●取付ねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締めなおしてください。そのまま使用すると危険です。

●本体はきれいに

石けん水に浸した布でふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用がありますので使わないでください。
ヤニとりスプレーをご使用になる場合、ヤニとりスプレーにはプラスチックを溶かすものがありますので本体にかからないように注意してください。

●作業後の保管

使用後やシーズンオフにはブレードがさびないように、必ず機械油を注油してブレードケースを取付けて保管してください。
使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

注 **• お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。**
• 軒先など雨がかかったり、湿気のある場所には保管しない。
• 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
• 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

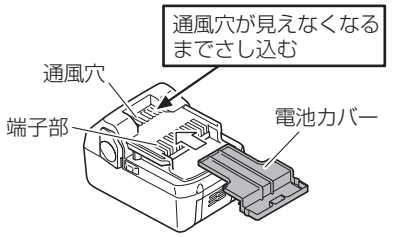
●蓄電池について

注 **長期間（3ヶ月以上）蓄電池を保管するときは、満充電にして保管してください。**
長期間、電池残量が少ない状態で保管すると、使用する際に充電できなくなる恐れがあります。

⚠警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

• 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
• 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



故障かな…というときは

次の内容を点検してください。それでもなおらない場合はお買い求めになった販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にお問い合せください。

	症　状	考えられる原因	処　置	参照ページ
充電器	充電ランプが点灯しない	電源プラグがコンセントにさし込まれていない	電源プラグをコンセントにさし込んでください。	P9
		蓄電池が充電器に確実にさし込まれていない	蓄電池が充電器の底に当たるまでしっかりとさし込んでください。	P9
		蓄電池または充電器の充電端子が汚れている	綿棒などで汚れをふき取ってください。	—
		蓄電池が高温である	蓄電池を十分に冷ましてから充電してください。	P10
	充電開始後、4時間くらい経過しても充電ランプが消えない	蓄電池または充電器の異常と考えられる	電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にお問い合せください。	P10
本体	動かない	蓄電池のさし込みが確実でない	蓄電池を引き抜いて、工具本体の電池挿入口から異物が混入していないか確認してください。また、蓄電池の端子部に汚れ等が付着していないか確認してください。 また、蓄電池は「カチッ！」と音がするまで確実にさし込んでください。	—
		ブレードの取付け方が間違っている	モーターが回転しているにもかかわらず、ブレードが動かない場合、ブレードの取付け方に誤りがある可能性があります。 クランクカムが間違いなく取付けられているか確認してください。	P13

	症　状	考えられる原因	処　置	参照ページ
本体	動かない	ブレードに異物がはさまっている	ブレードに異物がはさまっているときは、蓄電池を抜き取り、ペンチなどでゆっくり異物を取除いてください。 異物を取除いたとき、反動でブレードが動くことがありますので、十分に注意してください。 樹液の付着やさびなどでブレードが動かなくなることがあります。 ワイヤブラシなどで樹液やさびを取除いてください。	―
		大量の草木を一緒に刈込んで、過負荷状態になっている	モーターを保護する機能で、過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。 いったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。 もう一度スイッチを引けば、再びご利用になれます。	P6
		ロックオフボタンを押してスイッチを引いていない	本機は、誤操作により事故を防ぐため、ロックオフボタンを押しながらスイッチを引かないとスイッチが入らない構造となっています。	P11
	刈込みが上手にできない	ブレードの切れ味が悪くなっている	樹液や、さびをワイヤブラシなどで取除き、切り刃をヤスリや砥石で研ぎ出してください。 それでも切れ味がよくならないときは、寿命とお考えいただき、新しいブレードをお買い求めください。	P17
		能力以上の枝径を切ろうとして、ブレードの動きが止まる 注 **繰返しブレードが止まってしまうせん定作業を繰り返すとモーターの故障の原因になります**	能力内の枝径であっても、庭木の種類によってはせん定能力を超える場合があります。 あらかじめ、太い枝は余裕のある太さまで、せん定はさみで短めに刈込んでおくとスムーズな作業ができます。	P15
			能力内の枝径であっても、斜めにせん定すると、切断する面積が大きくなり能力を超えることがあります。 太めの枝は直角方向からせん定するようにしてください。	―

仕　様

1．工具本体

形　　名　（仕　様）	FCH 18 DSL（35）	FCH 18 DSL（40）
能　力※ （刈込みできる樹木の太さ）	15 mm	
刃物寸法（刈込み幅）	350 mm	400 mm
工具本体寸法 （全長×全幅×全高） （BSL 1830 装着時）	648 mm×174mm×176 mm	700 mm×174mm×176mm
質量（BSL 1830 装着時）	2.4 kg	2.5 kg
無負荷ストローク数	1100 min^{-1} {回／分}	
運転時間※（満充電時）	約 75 分	
モ　ー　タ　ー	直流モーター	
蓄　電　池	円筒密閉型リチウムイオン蓄電池	
電　池　電　圧	18 V	

※ 刈込む庭木の種類や刃物の切れ味によって変わることがあります。

2．充電器

形　　名	UC 18YGSL
入　力　電　源	単相交流　50／60Hz 共用　　電圧　100 V
充　電　時　間 ［気温 20℃ 時］	BSL 1415…約 40 分 BSL 1430、BSL 1830…約 90 分
充　電　電　圧	14.4 V－18 V
充　電　電　流	2.0 A
コ　ー　ド	2 心ビニールコード
質　　量	0.4 kg
使用温度範囲	0℃～40℃
充　電　ラ　ン　プ	赤色LED

3．蓄電池

形　　名	BSL 1830
容　　量	3.0 Ah
冷　　却	対応

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店にご持参ください。
なお、新しい蓄電池は、当社純正品をお使いください。
当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

Li-ion Mn
リチウムイオン電池は
リサイクルへ

アフターサービスについて

安全に能率よくご使用いただくために、定期的に点検に出されることをおすすめします。
正常に作動しないときは、ご自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にご依頼ください。
また、アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

相談と修理の窓口一覧表

（家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示）

本製品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店へどうぞ。

この商品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店が承るようにしております。転居されたり、贈物でいただいた場合などでお困りの場合は、お近くの相談と修理の窓口にご相談ください。なお、相談と修理の窓口の所在地、電話番号など、変わる場合もありますので、その節は「電動工具お客様相談センター」をご利用ください。新しい所在地、電話番号をご案内いたします。

お住まいの地域	窓口の所在地	支店（部）名	電話番号
全　国	東京都 港区	営業本部	(03) 5783 - 0626
北海道	札 幌 市	北 海 道	(011) 896 - 1740
青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	仙 台 市	東　北	(022) 288 - 8676
茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、千葉、神奈川、山梨、新潟、長野、静岡県富士川以東	東京都 港区	関　東	(03) 5783 - 0608
岐阜、愛知、三重、静岡県富士川以西	名古屋市	中　部	(052) 533 - 0231
富山、石川、福井	金 沢 市	北　陸	(076) 263 - 4311
滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	西 宮 市	関　西	(0798) 37 - 2665
鳥取、島根、広島、岡山、山口	広 島 市	中　国	(082) 504 - 8282
徳島、香川、愛媛、高知	高 松 市	四　国	(087) 863 - 6761
福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	福 岡 市	九　州	(092) 621 - 5772

「電動工具お客様相談センター」　0120 - 208822（フリーダイヤル・無料）
※携帯電話からはご利用になれません。　（土・日・祝日を除く 午前9：00 ～ 午後5：00）
電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立コードレス植木バリカン保証書

形　　名	FCH 18DSL	保証期間	本 体 ： 1 年 （付属品は除く）

※お買い上げ日	平成　　年　　月　　日		製造番号	
※お客様	お名前			
	ご住所	〒		
※販売店	住　所 店　名	〒 電話（　　）		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

保証期間内に取扱説明書などの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき無料修理いたします。お買い上げの日から上記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

1．保証期間内でも次のような場合には、有料修理となります。
（イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
（ロ）お買い上げ後の衝撃、落下あるいは移動、輸送などによる故障または損傷。
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
（ニ）保管の不備およびお手入れの不備による故障または損傷。
（ホ）本書の提示がない場合。
（ヘ）本書に形名、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
（ト）一般使用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
（チ）付属品、別売部品や消耗品類の場合。
2．本製品の故障などに伴なう二次的損害に対する保証はいたしません。
3．本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
4．ご転居、ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、取扱説明書記載の営業本部または、支店にお問い合わせください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

●本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is only Japan)

日立工機株式会社

〒108 - 6020　東京都港区港南 2-15-1（品川インターシティ A 棟）
電話（03）5783-0626（代）

部品コード　C99202401 G